

# 東京病院ニュース

## 増刊号



発行元 独立行政法人 国立病院機構 東京病院  
〒204-8585 東京都清瀬市竹丘3-1-1  
TEL 042 (491) 2111 FAX 042 (494) 2168  
ダイレクト・イン・ダイヤル 042 (491) 4134  
ホームページ <http://www.hosp.go.jp/~tokyo/>

## 副院長就任のご挨拶

副院長 松井 弘稔



前任の小林副院長の退職により、副院長に昇任となりました。今回の昇任では、すでに、外来で自分の担当患者さんから、多くのお祝いの言葉をいただきました。そのことで、副院長という地位の重要性を強く感じるようになりました。当院に2005年に来たときの仕事は、自分の担当患者さんを診ることだけだったんですが、その後、後輩医師を教えながらになり、病棟医長として複数の医師と病棟の入院患者全員に目配りするようになり、それが呼吸器内科全体と増えていき、さらには、他の診療科のことにもかかわるようになっていきましたが、今年度からは病院全体、そして地域の医療、しかも、現在だけでなく将来にわたっての方策についても考えなければなりません。まだ始まったばかりで、至らないところもありますがよろしくお願いします。



## 就任のご挨拶

### 統括診療部長 永井 英明



4月1日付にて統括診療部長を拝命いたしました。前職の臨床研究部長のポストは公募中ですので、新任の方が決まるまでは併任となります。統括診療部長は、診療面のすべての諸問題に対応しなければなりません。患者さんに満足していただける医療を提供し、地域の医療機関との連携がスムーズに行われるように努力して参ります。スタッフの働きやすい環境についても考えていかなければなりません。患者さん、連携医の先生方およびスタッフの皆さんにおかれましては、当院の医療についてご意見等がありましたら遠慮せずにおっしゃってください。よろしく願いいたします。

### 臨床検査科長 木谷 匡志



この度、臨床検査科長を拝命いたしました木谷匡志と申します。5年ほど前に当院に赴任し、前任の蛇澤先生のもと病理医として日々の診療に関わってきました。患者さんから頂いた検体をもとに病理診断を行うことで、よりよい医療に貢献できればと考えています。

また当科は、それ以外にもレントゲン検査や内視鏡検査を除いた多くの検査(血液検査など)を扱う部門でもあり、当院の検査技師とともに患者さんにとってよりよい医療を提供できるように努めてまいりたいと存じます。

### 消化器外科医長 小林 秀昭



平成31年4月1日より消化器センターに赴任しました、消化器外科医長の小林秀昭です。出身は静岡県富士市です。

平成6年日本大学を卒業し、25年間、消化器良性疾患における内服治療、内視鏡治療、手術(開腹、腹腔鏡)、消化器悪性疾患における内視鏡治療、手術(開腹、腹腔鏡)、抗癌剤治療、緩和治療を総合的に行なってきました。

これまでの経験を生かし国立病院機構東京病院スタッフと一緒にチーム医療を実践し、より良い医療を患者さんに提供できるように努力致しますのでよろしく願いいたします。

**呼吸器外科医師 篠原 義和**

呼吸器外科の篠原義和と申します。4月1日付で東京大学医学部附属病院呼吸器外科から東京病院に着任いたしました。学生の時に肺移植の可能性に魅せられ、将来は移植に携わりたいと考え、東京大学医学部附属病院呼吸器外科に入局いたしました。東京大学医学部附属病院では肺移植の他、肺癌、縦隔腫瘍といった呼吸器外科の典型的な症例も経験しております。東京病院で感染症の症例を多く経験できることに喜びを感じております。何卒よろしく願いいたします。

**リハビリテーション科医師 村上 香織**

4月から赴任しました、リハビリテーション科の村上香織と申します。当科には脳血管疾患や整形疾患により、機能障害を抱えた患者さんが機能改善や自宅退院を目標に多く入院しています。患者さんやご家族の希望を傾聴しつつ、リハビリテーションチームで退院後の生活を考えサポートできればと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

**リハビリテーション科医師 大野 洋平**

はじめまして、2019年4月からリハビリテーション科医師として入職しました大野洋平と申します。

これまで他院の総合診療科、リハビリテーション科で診療を行ってきました。

当院では主に回復期病棟を担当させていただきます。脳卒中後遺症などの障害を持った患者様が機能を回復し社会復帰できるよう、微力ながら尽力できればと存じます。

どうぞよろしく願いいたします。

**循環器内科医師 石橋 寛史**

神奈川県横浜市で生まれ、厚木市で育ちました。浜松医科大学を卒業した後、浜松医療センター、半田市立半田病院と東海地区の病院を経て、東京病院へ参りました。これまでに、冠動脈造影検査・冠動脈CTアンジオ・核医学検査・トレッドミル運動負荷検査をはじめとする虚血の精査と、心不全管理を行ってまいりました。今後は不整脈や経食道心エコー図など、広く深く学んでいく所存です。年々増加する高齢者の診療に関して、貴院にて一役を担う事ができれば幸いに存じます。



**緩和ケア内科医長 池田 みき**

本年4月より、緩和ケア内科医長を務めさせて頂くこととなりました。以前より、最終的には緩和ケア科を目標にまずはがん治療について学ぼうと呼吸器内科で研修させて頂いておりましたが、今回緩和ケア内科専従のお話を頂き、喜びと同時に大役に身の引き締まる思いでおります。当院の緩和ケア病棟は1995年に開設されました。時代とともに、緩和ケア病棟を取り巻く環境も変わり、特に昨年度の診療報酬改定では緩和ケア病棟平均在棟日数や待機期間、在宅移行率が施設基準に入るなど、終の住処であった緩和ケア病棟も変化を求められております。当院では今年度より、緩和ケア内科外来を拡充し、在宅医の先生方との連携を深め、緩和ケア病棟入院と在宅医療を双方向に円滑に行い、患者様とご家族様にとって大切な時間を苦痛なく、ご希望の場所で過ごして頂けるよう努めて参りたいと思っております。まだまだ力不足ではありますが、永井先生、三上先生のお力をお借りしながら、今まで築き上げてきた伝統を大切に新たな時代に求められる緩和ケア病棟となれるよう、スタッフと協力して尽力していく所存ですので、どうぞ宜しくお願い致します。

**専攻医 守随 匡弘**

今年4月より、内科専攻医として東京病院に入職させていただきました、医師3年目の守随匡弘と申します。

東京大学医学部附属病院での2年間の初期研修を経て、内科、特に呼吸器内科について幅広く学び、医療に邁進していきたいと思っております。

『患者さんの声に耳を傾け寄り添う』ことを忘れずに日々頑張りますので、よろしくお願ひ致します。

**専攻医 白石 千桜**

本年4月より東京病院に入職致しました、呼吸器内科専修医の白石千桜と申します。信州大学卒業後、新大久保にある東京山手メディカルセンターで初期研修を修了しました。馴染み深い清瀬の土地で呼吸器内科医としての第一歩を踏み出せることをとても嬉しく思っております。ひとつひとつの学びを大切に日々精進していきたいと思っておりますので、御指導御鞭撻の程何卒宜しくお願い致します。

**専攻医 新井 理乃**

本年4月より東京病院で呼吸器内科専攻医として勤務させていただくことになりました。東京病院のような恵まれた環境で呼吸器内科医としての第一歩を踏み出せることになり嬉しく思っております。これから様々なことを経験をさせていただき、知識、技術を身につけていきたいと思っております。患者さんから信頼していただける医師を目指して頑張りたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

**専攻医 檜原 裕治郎**

今年4月から働かせていただくことになった内科専攻医2年目の檜原と申します。初期研修後は心療内科医局に入り、公立昭和病院の内科プログラムから半年間東京病院に出向させていただくこととなりました。大学を卒業してからは常に病院の近くに住んでおり、長らく運動不足が続いておりましたが、この度毎日1時間自転車に乗ることになりましたので、運動不足が解消されると期待しております。呼吸器内科に関してはまだまだ疎く、ご迷惑をおかけすると思っておりますが、どうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

**専攻医 関口 亮**

内科専攻医2年目の関口 亮と申します。1年間内科専攻医として東京病院で研修させていただきます。東邦大学で前期研修を終え、その後は東邦大学大森病院呼吸器内科に所属致しました。新専門医制度のため、昨年度の1年間は呼吸器内科以外に循環器、消化器、腎臓内科、総合内科と複数の科をローテーションしておりました。新専門医制度では1年間他院での研修が必要であり、医局の先輩方の意見を参考に、東京病院で勉強させて頂くことを希望しました。日々精進して参りますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひ致します。

**専攻医 鈴木 宏依**

東京都立多摩総合医療センターから来ました鈴木宏依と申します。呼吸器科疾患を学ぶことに恵まれたこの環境で働けることをとてもうれしく思います。気持ちよく当院で過ごせるようしっかり対応させていただきますのでどうぞ宜しくお願ひいたします。

**専攻医 北野 奨真**

本年4月より呼吸器内科専攻医として診療にあたります北野と申します。

東邦大学大橋病院循環器内科より伺っております。以前より良き臨床医はジェネラリストであるべきとの考えで、東京病院で勉強・経験させていただいておりますが、改めてこのような恵まれた環境で学べることを感謝しております。1ヶ月が経ちましたが、いまだにここでしかできないであろう経験に驚かされることが多いです。半年間ですが、少しでもお力になれるよう尽力しようと思っております。よろしく申し上げます。

**栄養管理室長 中野 美樹**

4月1日付で東埼玉病院よりまいりました。よろしくお願い致します。

4月下旬に東京病院で有名なカルガモの姿を見ることができました。栄養管理室にはカルガモ一家の写真が飾られており、いつ頃飛来するのだろうと楽しみにしておりました。まだ、ヒナの姿を確認できませんでしたが、元気に育ってほしいと願っています。また、清瀬にはおいしい野菜がたくさんあると聞いていたので、早速、清瀬産の野菜を使いフレンチを提供しているお店にも行って来ました。職業柄おいしい料理を食べると、栄養指導や病院食に生かしてみたくなくなってしまいます。自然豊かな東京病院で、よりよい栄養管理をめざして頑張りたいと思います。

**理学療法士長 丸山 昭彦**

平成31年4月よりリハビリテーション科、理学療法士長として独立行政法人国立病院機構栃木医療センターより赴任いたしました丸山昭彦です。

当院のリハビリテーション科は回復期病棟の患者さま、並びに神経筋疾患、呼吸器疾患、がん、周術期の患者さまなど幅広い分野の専門的リハビリテーションを行っています。

これからも地域の先生方やスタッフの方々、関連部署の方々にお力をお借りしながらより良いリハビリテーションを提供できるよう努力していく所存ですので宜しくお願い致します。

## 臨床検査技師長 峰岸 正明



4月1日付けで群馬県のNHO高崎総合医療センターより、配置換えで参りました臨床検査技師長の峰岸と申します。私は昭和58年に東京病院で採用となり約10年を東京病院で仕事をさせていただきました。その後霞ヶ浦病院（茨城県）へ異動した後5施設を経て再び東京病院に戻ってまいりました。最初の時の東京病院は今のような立派な建物ではなく、検査室を含め病院が古い建物でした。臨床検査の業務に関しても今とは格段の差があり、例えば検体検査では自動分析装置は低スペックなために、手作業で測定する項目が数多くありました。当然電子カルテもなく全て伝票による運用でした。今では電子カルテは導入され、検体検査室には検体搬送システム付きの自動分析装置が設置されて最先端の検査室となっています。この素晴らしい仕事環境を活かし、常に病める人の立場に立って迅速で正確な結果を提供できるように努めてまいりますので、今後ともどうぞよろしく申し上げます。



## 診療科目

- 内科
- 脳神経内科
- 呼吸器内科
- 消化器内科
- 循環器内科
- アレルギー科
- リウマチ科
- 外科
- 消化器外科
- 整形外科
- 呼吸器外科
- 泌尿器科
- 眼科
- 耳鼻いんこう科
- リハビリテーション科
- 放射線科
- 麻酔科
- 緩和ケア内科
- 感染症内科
- 病理診断科
- 歯科

## 「人間ドック」・「肺ドック」・「消化器ドック」受付しております。

<実施期間>「人間ドック」：平日の月・木・金曜日のみ

「肺ドック」「消化器ドック」：平日の月～金曜日

<受診を希望される方は>

完全予約制となっておりますので、ご希望の方は下記の予約センターまでお問い合わせください。

【予約センター：TEL 042-491-2181 受付時間：平日 8:30～15:00】

受付時間：初診 8:30～14:00

再診 8:00～11:00

(科によって、診療を行って  
いない曜日、時間があります)

予約センター 042-491-2181

(受付時間平日8:30～15:00まで)

## 専門外来案内

専門外来名		診察日	このようなことでお悩みの方は、ご相談ください
	禁煙(予約制)	火(午後)	タバコがどうしてもやめられない方。 (当院の禁煙外来は、平成20年1月より保険が適用となりました。)
呼吸器関係外来	肺がんセカンドオピニオン(予約制)	木(午後)	肺がん治療についてのセカンドオピニオンを希望される方。 [1時間まで10,800円]
	咯血(予約制)	火(午後)	咳をともなって気道・肺から出血する状態を咯血といいます。肺アスペルギルス症、気管支拡張症、非結核抗酸菌症、肺結核、肺癌の患者さんにおこります。ご相談ください。
	間質性肺炎(予約制)	水(午前)	この病気は「息切れ」と「から咳」がよくある症状です。治療が難しく、膠原病に合併する場合があります。
	非結核性抗酸菌症	水(午前)	咳や痰が出て、血痰があるなど一見結核にみえますが違います。結核とそっくりの症状がこの疾病です。他人への感染はありません。
	いびき COPD (睡眠時無呼吸症候群の検査)	月～金(午前)	ご家族などから「いびきが大きい、長く続く」あるいは「ねている時に息が止まる」などと言われた方。COPDを疑われたり、COPD呼吸リハビリを御希望の方。
	難治性喘息外来 (予約制)	月・水・金(午前)	通常の喘息治療でうまく喘息がコントロールされていない難治性喘息の方。
ものわすれ外来(予約制)	水(午後)、 木(第1・3週のみ)	最近ものわすれのひどい方、アルツハイマー病などが心配な方。 (あらかじめ神経内科を受診して下さい。)	
高次脳機能外来	木 (第1週・第3週のみ)	失語・失行や健忘などの診断、リハビリテーションへの紹介など(要神経内科外来受診)。	
地域リハビリ相談	木(午前)	連携医の先生方からかりつけの患者様で、運動・言語・嚥下機能に問題があり、リハビリテーションをご希望の方。(かかりつけ医の情報提供書が必要です。)	

## 地域医療連携室よりお知らせ 患者様をご紹介いただく場合(医療機関)

外来診療の予約：診療依頼書をFAX送信して下さい

CT・MRI検査の申し込み：地域医療連携室へお電話下さい

## 地域医療連携室

FAX 042-491-2125 (8:30～17:15)

TEL 042-491-2934 (8:30～17:15)

## 交通

- 西武池袋線 清瀬駅南口よりタクシー5分、または南口バス2番乗り場より久米川駅行・所沢駅東口行は東京病院北下車、下里団地行・滝山営業所行・花小金井駅行は東京病院玄関前下車。(早朝夜間など東京病院玄関前を経由しない場合があります。)
- JR武蔵野線 新秋津駅より無料シャトルバス運行中
- 西武新宿線 久米川駅北口より清瀬駅南口行で東京病院北下車。または花小金井駅北口より清瀬駅南口行きで東京病院玄関前下車。(早朝夜間など東京病院玄関前を経由しない場合があります。)
- JR中央線 武蔵小金井駅より清瀬駅南口行のバス路線があります。
- 東武東上線 志木駅南口より清瀬駅北口行のバス路線があります。
- お車でお越しの際は正面よりお入り下さい。

(駐車場265台)

30分以内 無料

31分～4時間 100円

以後1時間毎 100円

(20時15分～7時 1時間毎300円)

WEB検索

東京病院

検索

